

## Gigabit Ethernetファイバメディアコンバータ - MM LC

MCM1110MMLC

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

PT: Guia do usuário - pt.startech.com

## パッケージの内容

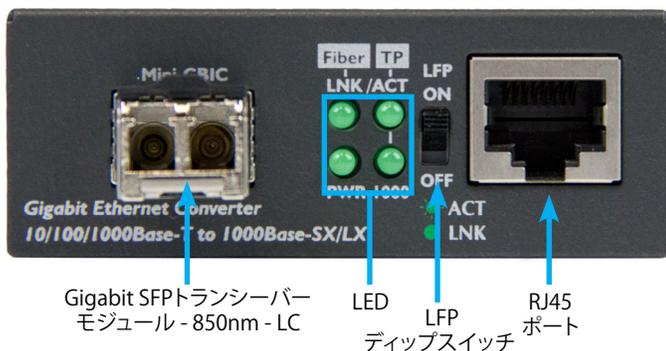
- 1x ファイバメディアコンバータ - MM LC
- 1x ユニバーサル電源アダプタ (北米/EU/UK/オーストラリアで使用可能)

## 動作環境

- 10/100/1000Mbps Ethernetネットワーク機器
- RJ45端子付UTP Cat5e以上のEthernetケーブル
- 端子付光ファイバケーブル — マルチモードLCデュプレックスコネクタ
- AC電源コンセント

## 製品図

## フロントビュー



## リアビュー



## メディアコンバータのインストール手順

本メディアコンバータには、LCコネクタ付き1000Base-SX (850 nm) Gigabit SFPトランシーバモジュールがプリインストールされています。

- メディアコンバータに接続するネットワーク機器の電源を落とします。
- SFPモジュールからダストカバーを取り外します。  
**注意:**プリインストールされたSFPモジュールに加え、メディアコンバータはあらゆるMSA互換Gigabit SFPモジュールと一緒に使用できます。10/100Mbpsモジュールには対応していません。
- マルチモードLCデュプレックス光ファイバケーブルを、メディアコンバータのSFPモジュールからファイバネットワーク機器に接続します。TXとRXコネクタは接続の両端でペアになっている必要があります。例: TX - RX, RX - TX。
- RJ45 Cat 5e/6 EthernetケーブルをコンバータのRJ45ポートから10/100/1000Mbpsネットワーク機器へ接続します。
- お住まいの地域のクリップを選択し、電源アダプタをAC電源コンセントに接続します。
- 電源アダプタをメディアコンバータのDC入力に接続します。**PWRLED** (電源) が点灯します。
- 手順1で電源を落としたネットワーク機器の電源を入れ直します。すべてのケーブルとデバイスが正しく接続されている場合は、**Fiber (ファイバ)** および **TP LNK/ACT LED** が点灯します。

**注意:**SFPモジュールのリンクバジェットとモジュールの配線距離を確認してください。SFPモジュールは信号を長距離転送する設計になっています。物理的な接続距離が短すぎる場合、転送光信号(レーザー)が強くなり過ぎて受信SFPモジュールを損傷する可能性があります。SFPモジュールを損傷から守るため、インライン光減衰器が必要になります。

## LEDインジケータ

LED	動作状況	意味
PWR (緑)	点灯	メディアコンバータの電源が入っています
Fiber LNK/ACT (緑)	点灯	メディアコンバータとファイバネットワーク機器のファイバリンクが確立されています
	点滅	Fiber (ファイバ) ポートからデータが送受信されています (動作中)。
TP LNK/ACT (緑)	点灯	メディアコンバータとRJ45ネットワーク機器のRJ45 Ethernetリンクが確立されています
	点滅	RJ45ポートからデータが送受信されています (動作中)。
TP 1000 (緑)	点灯	RJ45ポートのGigabit (1000Mbps) リンクが確立されています
	オフ	RJ45ポートは10/100Mbpsの速度で動作しています

# リンクフォルトパススルー (LFP)

リンクフォルトパススルーは、リンクの問題を通知し、効果的なネットワーク監視方法を提供します。デフォルトでは、LFPディップスイッチは**ON (オン)**に設定されています。ディップスイッチでLFP機能の有効**(ON) (オン)**または無効**(OFF) (オフ)**を切り替えられます。

## LFPの有効化

ディップスイッチを**ON (オン)**にすると、LFPが有効になります。機器をメディアコンバータに接続している時に、**TP (ツイストペア)**銅線または**ファイバ**ラインのリンクが切れた場合、メディアコンバータは反対側のインターフェースの転送リンクを切断します。

- LFPディップスイッチを**ON (オン)**の位置へスライドさせ、LFPを有効化します。

## LFPの無効化

ディップスイッチを**OFF (オフ)**にすると、LFPが無効になります。ネットワークインフラストラクチャと適切な診断手順に精通している場合は、LFPを無効にすることができます。それ以外の場合は、DIPスイッチをデフォルトの**ON (オン)**の位置にしておくことをお勧めします。

- LFPディップスイッチを**OFF (オフ)**の位置へスライドさせ、LFPを無効化します。**OFF (オフ)**に設定したら、電源を切断した後再接続してメディアコンバータをリセットします。

## デュプレックスモードサポート

メディアコンバータのRJ45ポートは10/100/1000Mbpsネットワークをサポートしており、接続タイプを自動的にネゴシエートします。デフォルトでは、接続されている機器のリンク速度とデュプレックスモードが自動的に検出されます。

メディアコンバータのファイバポート (1000Base-SX/LX) から、1000Mbpsのフルデュプレックス自動ネゴシエーションが可能です。接続したファイバ機器のデュプレックス設定がメディアコンバータのデュプレックス設定と一致していることを確認してください。

## FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則Part 15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合 (干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

## インダストリーカナダ準拠ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。  
CAN ICES-3 (B)

## 商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用しますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的のみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

## テクニカルサポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、[www.startech.com/support](http://www.startech.com/support)までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。最新のドライバやソフトウェアは、[www.startech.com/downloads](http://www.startech.com/downloads) からダウンロードできます。

## 保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

## 責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

# StarTech.com

Hard-to-find made easy®

## ファイバケーブルの種類と距離

### ファイバケーブルの種類

標準 (波長)	シングルモード	マルチモード
1000Base-SX (850nm)	該当なし	50/125 μmまたは62.5/125 μm
1000Base-LX (1310nm)	9/125 μm	50/125 μmまたは62.5/125 μm

### ファイバケーブルの距離

本メディアコンバータには、LCコネクタ付き1000Base-SX (850 nm) Gigabit SFPトランシーバーモジュールがプリインストールされています。

メディアコンバータの距離機能は可変であり、使用される光ファイバケーブルとSFPモジュールに依存します。

標準 (波長)	ファイバケーブルの種類	直径 (ミクロン - μm)	帯域幅 (MHz)
1000Base-SX (850nm)	MM	62.5/125μm	100
		50/125μm	500
1000Base-LX (1310nm)	MM	62.5/125μm	5
	SM	9/125 μm	5
			該当なし

## 面または壁への取り付け

メディアコンバータには、機体の底面に2つの取付穴があり、平面または壁面に取り付けることができます。

- 一体型取付穴を使用して、メディアコンバータを壁面または平面に固定します。

**注意:**メディアコンバータを取り付けるにはネジが必要です。